

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
14	望月 徹（3）	<p>1. 富士川第二小学校・第二中学校の小中一貫教育の先行実施校の施設について</p> <p>現在、本市において、小中一貫教育の先行実施校となる富士川第二小学校と富士川第二中学校は、両校の校長がリーダーとなり、分科会等を組織し、教職員の連携を深めていると伺っております。</p> <p>また、まちづくり協議会、PTA、学校運営協議会等、地域、保護者と学校とのコミュニケーションもよく、富士川第二小学校においては平成27年度からコミュニティスクールとして、地域住民が教育活動にも積極的に参画しており、ソフト面においては着々と実施に向けて進んでいるように思われます。</p> <p>一方、ハード面におきましても、施設一体型のレイアウトが提示されており、幾つかの要望事項を取り上げていただいたと伺っております。</p> <p>小中一貫教育の先行実施校として成功させていくには、ソフト面だけでなく、施設の建つ位置等、小中学生、教職員の動きの流れが効率的であることも、成功の秘訣と考えます。</p> <p>施設のレイアウトについては、安全面の確保を第一とし、その上でそれぞれの学校が持つ地域特性を組み込むことも必要かと思われます。</p> <p>こうした考えのもと、以下2点を質問いたします。</p> <p>(1) プールの場所と安全面、今後の活用について</p> <p>① 現在のレイアウト案は既存施設の継続使用です。新校舎から最南端に位置します。歩道橋と旧小学校運動場を縦断する形で歩いていきます。そのため、熱中症のリスクを考慮すべきと思うのですが、プールを校舎に近い位置に建設する考えがあるか伺います。</p> <p>② 単に学校プールとして使用するのではなく、学校開放の線上で、学校プールプラス市民プールとして活用できる屋内型プールとしての施設を検討できないでしょうか。屋内型プールであれば、教育時間以外は、市民プールとして指定管理者等による運営とすれば、活用範囲は大幅にふえます。</p> <p>(2) 今後の校舎建築による運動場再整備の影響で、長期にわたって運動部がグラウンドを使用できなくなるのではと懸念されますが、部活動の停滞のリスクを避ける工程をお考えでしょうか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長